

別府 あかね（公益社団法人 NEXT VISION）



今年度から電話専門員相談を担当させていただくことになりました別府（べふ）あかねです。

私は、1999年から歩行訓練士として高知県の「視覚障害者生活相談・訓練事業」を担当し、主に中途視覚障害者の自宅に訪問して、歩行訓練や調理など生活訓練に携わりました。当時の高知県は視覚障害リハビリテーションの拠点となる社会資源がなかったため、「視覚障害者向け機器展示室ルミエールサロン」という機器展示室の立ち上げにも関わりました。

ルミエールサロンに来室される方の中には、「こんな情報をもっと早く知りたかった」「もっと早く知っていたら仕事を続けられていたかもしれない」と言われる方がたくさんいらっしゃいます。そして私自身も必要としている方にもっと早く情報提供をするために眼科で働きたいと考えるようになり、専門学校に1年間通い、視能訓練士の資格を取得しました。

その後、神戸アイセンターの立ち上げに関わるご縁をいただき、公益社団法人 NEXT VISION に所属し、ビジョンパークで情報コンシェルジュとして勤務をしました。ここでは神戸アイセンター病院の患者さんに情報提供を行う仕事をメインに、ロービジョンケアを啓発するさまざまなイベントの実施に関わりました。神戸アイセンターがオープンした1年目は、各県のJRPSの会員の皆さんがバスで見学ツアーにも来てくださいました。この協会誌を読んでいる方の中にもビジョンパークでお会いしている方々もいらっしゃると思います。また、JRPSのピアサポートの活動をされている近畿圏の会員の皆さまには、ビジョンパークでの相談業務で大変お世話になりました。

神戸での2年間の活動を終え、高知に戻ってからは、町田病院（高知市内にある眼科専門病院）でロービジョンケアの専属担当として3年間勤務をしました。この3年間では、見えにくく生活に不便や不安を感じている幅広い年齢層の患者さんのロービジョンケアに関わり、身体障害者手帳取得のサポートや障害年金の手続きや、就労継続のためのロービジョンケア、高齢の患者さんにはケアマネージャーと連携を取り、日常生活や趣味の活動の支援などに関わりました。

現在は、NEXT VISIONの非常勤職員として高知を拠点に活動中です。コロナ禍の中、なかなか神戸アイセンターへの出張が叶いませんが、いつでもどこでもロービジョンケアの情報が必要な方に情報を届けられるように、歩行訓練士と視能訓練士として福祉と医療の両方での経験を活かし、JRPSの電話専門員相談にも関わりたいです。見えにくくて困っていることがある方はもちろん、今すぐ困っていないけど将来不安に感じている方も早めに情報を知ることによって安心できることもあると思います。気軽に電話専門員相談を活用していただけると嬉しいです。皆さまどうぞよろしくお願いいたします。